



健闘を祈念して「がんばろう三唱」



決意表明を述べた池畑さん



出品者を激励する市長

「全共」出品者を激励

8月9日、市役所で「全共」出品者の激励会が開催され、出品者やその家族をはじめ、行政、議会関係者が出席しました。会の中で、中西市長は、「これまでの皆さんの努力に敬意を表したい。今回の『全共』は、鹿児島県の日本一奪還はもちろんだが、鹿屋市の出品者の日頃の努力の成果が出ることを期待している。先日、皆さんの農場を訪問したが、牛に愛情をそそぎ、大事に育てているのを目の当たりにし、感銘を受けた。当日は最高の状態に仕上げ、臨んでいただきたい」と、出品者を激励しました。

その後、出品者を代表し、第7区総合評価群（種牛群）に出品する池畑義人さんが、「この度は鹿屋市から7頭が『全共』に出品することになった。これもひとえに、行政や農協など関係者の方々のご協力があったからこそだと感謝している。『全共』まで約1か月、まだまだ暑い日が続くが、牛をばてさせずに、本番まで最高の状態で持っていきたい」と、決意表明を熱く述べました。



全国和牛能力共進会に鹿屋市から7頭が出品

9月7日(木)から11日(月)にかけて、宮城県で「第11回全国和牛能力共進会」(通称「全共」)が開催されます。5年に1度開催される「全共」は「和牛のオリンピック」と呼ばれ、和牛の能力と斉一性の向上を目指して、全国の和牛が改良の成果を競う大会です。

で最も多い7頭が出品され、6個人1団体が出品者として出場します。今回は「全共」に挑む出品牛・出品者の皆さんの紹介とともに、出品者の「全共」にける思いなどを語っていただきました。

市民の皆さんの応援をお願いします！

同共進会に鹿屋市からは、鹿児島県内の自治体

鹿屋市畜産課(2階) ☎0994-31-1118

「第11回全国和牛能力共進会 宮城大会」

大会テーマ：「高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産」
出品頭数：種牛の部330頭、肉牛の部183頭、合計513頭 参加道府県：39道府県



「ななみ」と、右から森義之専務、羽富常務、倉富さん

第2区若雌の1

農事組合法人
森ファーム組合
(輝北町上百引)

名号：ななみ
生年月日：H28.5.5
父：隆之国
母：みきこ
(原1414335)
母の父：百合茂
母の祖父：神高福

正直、「全共」出品に驚いています。気を付けてきたことは、病気をさせないことです。体調管理をしながら、しっかり腹づくりをしてきました。輝北はJAそお管内ですが、県の予選会でJA肝属管内の方々の一致団結している姿を見て、今回、皆さんと共に切磋琢磨していけば、日本一になれるのではないかと期待を持ちました。鹿児島黒牛の底力を見せて、鹿児島県の日本一奪還に貢献できればと思っています。



県最終予選会の審査の様子

鹿屋市は県内最多の出品
7月29日・30日、霧島市の始良中央家畜市場で、「第66回鹿児島県畜産共進会・第11回全国和牛能力共進会鹿児島県最終予選会」が開催されました。これは、県内10地区の予選会で選ばれた種牛の部の牛113頭から、「全共」出品牛を選抜するために行われたもの。鹿屋市からは第1区若雄、第2区若雌の1、第5区繁殖雌牛群、第7区総合評価群(種牛群)、復興特別区高校生の部に、計18頭が出品されました。

最終予選会では、出品区ごとに、体高や栄養度、体積、品位、資質等が審査され、その結果、「全共」に出品する県代表牛として22頭が決まり、そのうち鹿屋市から6頭(5個人1団体)が選ばれました。また、肉牛の部は、事前の巡回審査で、県内8地区76頭から8頭が選ばれ、そのうち鹿屋市から1頭(1個人)が選ばれました。

日本一奪還へ向けて

「全国和牛能力共進会」は、昭和41年に岡山県で初開催され、今回は11回目となります。鹿児島県は、第8回大会では、農林水産大臣賞を6部門で獲得するなど、日本一と言える成績を収めました。第9回から創設された「団体賞」では、宮崎県が優勝、続く第10回も宮崎県に連覇を許しました。5年後の第12回大会は鹿児島県での開催。「鹿児島全共」の弾みにしたいと、今回の「宮城全共」で鹿児島県の団体優勝が期待されています。



「はるか41」と池畑さん夫婦

第7区 総合評価群
(種牛群)

いけばた よしと
池畑 義人さん
(菟川町)

名 号：はるか 41
生年月日：H28.4.3
父：喜亀忠
母：はるか 4
(原1652203)
母の父：華春福
母の祖父：安福久

「全共」出品は、第8回の「岐阜全共」以来2度目で、「岐阜全共」では農林水産大臣賞を受賞しました。今回も牛に恵まれ、県予選では姿のきれいな牛に仕上がりに、自信もありました。農協や市など関係機関の職員の方々が、毎日のように朝早くから来て、一生懸命サポートしてくださっており、ありがたく思っています。やれる限りやれば、鹿児島県が再び日本一になれると思います。頑張っ参ります。

第7区 総合評価群
(種牛群)

ひこ かつなり
肥後 勝也さん
(串良町細山田)

名 号：けんじ
生年月日：H28.3.21
父：喜亀忠
母：みきこ
(原1657518)
母の父：美国桜
母の祖父：平茂勝

20年間のサラリーマン生活を辞め、牛飼いを始めて今年で37年。今回、3回目の挑戦で、夢見た「全共」出品を勝ち取りました。年齢的に次は厳しいと思い、今回はどうしても「全共」に行きたいという強い思いがありました。共進会や各畜産イベントに出ることは、楽しみでもあり、生き甲斐でもあります。また同業者や技術員の方々とのお出で、人とのつながりも生まれます。それは、自らはもちろん、従業員の成長にもつながると思っています。



「けんじ」を中央に、右から肥後さん、従業員の樋口さん、和田さん、松脇さん

第9区 去勢肥育牛

やくし なりひと
薬師 成人さん
(下城町)

名 号：忠久福
生年月日：H27.10.19
父：忠久勝
母：第3ともみ
(原1414606)
母の父：安福久
母の祖父：美華忠

前回の「長崎全共」では、亡き父が「第7区総合評価群(肉牛群)」で出品しました。今回、父と同じ土俵に立つことになり、うれしく思っています。肥育の部では、肝属からたったの1頭で寂しさを感じますが、生産牛のほうでは上位に立っている牛がそろっているので、日本一を目指せると思っています。牛の管理はこれまでと同様ですが、出品牛をはじめお預かりしている牛は、さらに気を付けて、しっかり管理し、「全共」に臨みたいですね。



「忠久福」を囲む薬師さん家族(左から2人目が成人さん)

第5区 繁殖雌牛群

おおくぼ かつひろ
大久保 勝浩さん
(上野町)

名 号：しらきひめ
生年月日：H24.5.2
父：華春福
母：しらきたかみ
(原1413827)
母の父：勝糸福
母の祖父：金幸

サポートしてくださった皆様のおかげで、いい結果が出たのだと思います。私も鹿屋市肉用牛振興連絡協議会の会長の任にあり、妥協はしたくないという気持ちもありました。これで若い人の手本に少しでもなっていて、今後奮起してくれば、自分の役目も果たせて、皆さんへの恩返しにもなるかなと思っています。県代表の牛として、「全共」までさらに体調管理に気を付けて、良い報告ができるように頑張っていきたいと思っています。



「しらきひめ」を囲む大久保さん家族(左端が勝浩さん)



「あゆみ」を囲む上別府さん家族(中央が実さん)と従業員の和田さん。三女の美由紀さん(右から4人目)は和牛審査競技会「女性部」に出場

※和牛審査競技会とは、「全共」の付帯事業として行われるもの

第5区 繁殖雌牛群

かみへつ ぶ めのる
上別府 実さん
(串良町上小原)

名 号：あゆみ
生年月日：H23.7.23
父：第2平茂勝
母：あづさ
(原1289757)
母の父：第5集福
母の祖父：平茂勝

「あゆみ」が平成27年度の県畜産共進会でグランプリを取って以来、「次は全共出品だ」と、これまで皆さんから激励されてきました。ご期待に応えることができ、うれしく思います。これは自分だけの力だけではありません。農協や市役所など関係機関の方々が、我が牛のごとく、毎日のように来ていただきました。その成果が実ったものだと思います。「全共」は、第5回「島根全共」以来2度目の出品です。日本一を夢見て頑張っ参ります。

第7区 総合評価群
(種牛群)

あおき しゆんすけ
青木 春佑さん
(串良町上小原)

名 号：きくひめ9
生年月日：H28.4.7
父：喜亀忠
母：きくひめ
(原1375949)
母の父：21世紀
母の祖父：神高福

和牛繁殖農家を始めて8年目。「全共」出品は、前回に続いて2度目となります。前ははまだ就農3年目ということもあり、周囲に頼ってばかりだったので、「5年後は自分の力でも」という気持ちで挑戦しました。もちろん、今回も周囲のサポートに恵まれました。大事にしていることは「縁」。牛との巡り合わせ、人とのつながり、どれも「縁」だと思います。日本一を取って、5年後の「鹿児島全共」に向けて、いいステップにしたいですね。



「きくひめ9」と青木さん